



かながわ

議会だより

鎌倉市議会

〒248-8686 鎌倉市御成町18番10号

電話：0467(23)3000 内線 2448 FAX：0467(23)5825

鎌倉市議会ホームページ…………… [鎌倉市議会](#) [検索](#)

編集発行：鎌倉市議会広報委員会

平成26年2月定例会(2月12日～3月28日) 平成26年度一般会計予算を多数により可決

●定例会の概要

- ・今定例会では、7名の議員が一般質問を行い、各会派から代表質問が行われました。
- ・市長提出議案として、現年度議案は、一般会計等補正予算7件を含む10件を可決したほか、副市長の選任及び人権擁護委員候補者の推薦の人事議案2件に同意しました。また、新年度議案は、条例関係10件、一般会計予算及び6特別会計予算を可決したほか、廃棄物の減量化、資源化及び処理に関する条例の一部改正議案は委員会での審査中に議案が撤回されたため、新年度予算議案の訂正が行われました。
- ・議会提出議案として「鎌倉市由比ガ浜4丁目大型商業施設計画に関する決議について」外2件を可決し、陳情3件を採択、1件を不採択としました。
- ・当初、会期を2月12日から3月19日までとしましたが、新年度予算関係議案の審査に時間を要したため、会期を3月28日まで延長しました。

●定例会の主な動き

本会議(2/12、13)……………	一般質問、議案上程、採決	(2・6面)
本会議(2/19～21)……………	代表質問、議案上程	(3～6面)
各常任委員会(2/24～28、3/5、24～26)……………	議案・陳情審査等	(3面)
本会議(3/5)……………	委員長報告、採決等	(6面)
予算等審査特別委員会(3/6～28)……………	新年度議案審査	(3面)
本会議(3/19、28)……………	委員長報告、議案上程、採決	(2・3・6面)

オープンミーティングを開催しました!

～ 鎌倉市議会ってどんなところ? Vol. 8 ～

鎌倉市議会では、開かれた議会を目指して議会基本条例の制定作業を進めており、2月1日及び2日にオープンミーティングを開催し、市民と議会との関係について、市民の皆さんの意見をいただきました。当日、グループごとに発表された意見や要望を性質別にまとめると次のようになります。

▶ 腰越会場

テーマ 議会というどんなイメージを抱くか

- ・良いイメージ 31件
(議会は変わろうとしているなど)
- ・悪いイメージ 141件
(市民と離れた存在など)
- ・こういう議会であってほしい 56件
(住民の声を反映してほしいなど)
- ・その他の意見 32件



各会場でいただいた意見の詳細は、ホームページをご覧ください。

▶ 深沢会場

テーマ 議会にどのような期待をしているか

- ・議会や議員に対する期待 171件
(市民に有益な議会であってほしいなど)
- ・その他の意見 68件



▶ 玉縄会場

テーマ 市民に対する情報発信は何かがあるか

- ・SNS等 32件
(フェイスブック、ツイッターなど)
- ・各議員による情報発信 16件
(関心の高いテーマの発信など)
- ・その他の意見 165件



▶ 大船会場

テーマ 議会の説明責任はどのようなことが考えられるか

- ・議会全体としての説明責任に関する意見 155件
- ・各議員に対する説明責任に関する意見 24件
- ・その他の意見 31件



▶ 鎌倉会場

テーマ 市民意見の聴取をどのようにすればよいか

- ・市民との会合による意見の聴取に関する意見 13件
- ・自治・町内会等の団体やその他団体との会合による意見聴取に関する意見 17件
- ・ネットやSNS等による意見の聴取に関する意見 その他 298件



「開かれた議会を目指して」第2弾!

双方向の「議会報告会・意見聴取会」を開催します

鎌倉市議会では、市民に開かれた議会を目指す試みとして、本年2月のオープンミーティングに引き続き、「議会報告会・意見聴取会」を下記の日程で開催いたします。ここでは、皆さんに議会活動を報告するとともに、直接ご意見を伺います。

皆さんのご参加をお待ちしております。

開催日時と会場

5月10日(土) 10～12時 市役所議会全員協議会室(本庁舎2階)

※当日は市役所駐車場が市民駐車場となるため、ご利用は有料となります。

5月14日(水) 19～21時 大船行政センター第1集会室

※駐車スペースに限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

事前連絡なしの参加も大歓迎ですが、どちらの会場に参加されるか、あらかじめご連絡いただければ幸いです。(連絡先は鎌倉市議会・電話23-3000内線2447)



一般質問

一般質問とは、市の事務や市が抱える課題等について市長などにたずぬもので、**2月定例会では7名の議員が一般質問を行いました。**
ここでは広報委員会では採りし、事項別に整理した一部の内容を掲載しています。

一般質問の全文は、6月上旬作成予定の本会議録を図書館や鎌倉市議会ホームページ内「会議録検索システム」でご覧ください。

岡田 和則	……	「給与構造改革と職場環境の整備」
上島 寛弘	……	「鎌倉市社会福祉協議会に於ける労働組合からの不当要求問題」「市長の政治姿勢等について」
松中 健治	……	「市長の政治姿勢について」
渡邊昌一郎	……	「着地型観光事業に関する不明朗な事務処理について」「老朽化したインフラ整備について」
千 一	……	「定期巡回型介護について」「重度訪問介護について」「学童保育について」「いじめ・虐待を予防する教育について」「踏切をもっと渡りやすく」
赤松 正博	……	「庁舎管理と議員の政治活動について」
竹田ゆかり	……	「安全・安心な暮らしを守るために」「教育環境・条件整備」「インクルーシブ社会をめざして」

文化財行政

文化財行政について、次の質問が行われました。

質問：鶴岡八幡宮の横に計画されている保育園の建設計画について、現状を聞きたい。ことどもみらい部長：本件については、平成25年10月末に、地元町内会から建設に係る反対署名が提出されており、このような状況においては、建設に係る補助金の執行は困難であると考えている。

その後、町内会からは、運営主体となる社会福祉法人との協議には応じないとの意向が示されており、合意形成は困難であると考えられることから、同法人に対し、その旨を伝えたところである。同法人としても、補助金を前提に事業を進めることはできないと理解し

インフラ整備

インフラ整備について、次の質問が行われました。

質問：レイ・ウエル鎌倉を廃止することだが、跡地の活用はどう考えているのか。また、現在の機能の代用施設についての考えを聞きたい。

経営企画部長：レイ・ウエル鎌倉は、昨年実施した耐震診断の結果、耐震性に問題があり危険な状態であることが判明し、市の公共施設再編の取り組みも踏まえ、平成25年度末をもって施設を廃止する予定である。廃止後の跡地利用については、現在進めている公共施設再編の検討の中で方針を

えていると考えている。質問：当該地は鎌倉時代の政所跡であると聞いており、八幡宮の方からも、武家政権発祥の地として非常に重要な場所であると聞いている。この点について、教育委員会としてはどのように受け止めているか。

教育長：政所は政権の行政的な実務を行っていたところであり、鎌倉幕府が朝廷から独立した初めての武家政権として、御所等と同じく、鎌倉の歴史を考える上で、非常に重要な場所であると認識している。質問：鎌倉の歴史的な位置付け、あるいは意味付けをする上で、小さな場所ながらも重要であると思うが、市長はどう考えるか。市長：教育長も答弁したとおり、政所は鎌倉市の歴史を考える上で重要であると考

踏切の安全性

踏切の安全性について、次の質問が行われました。

質問：市内だけの問題ではないが、特に北鎌倉付近の踏切の安全性はどうなっているか。

都市整備部長：北鎌倉駅周辺には5カ所の踏切があり、道路幅員と踏切の幅員が異なるもの、線路の溝が大きいものなど改良が必要な踏切があり、この改良に向けてJＲと安全性の再点検、施工の方法、費用負担など調整を行おうと考えている。質問：踏切の安全性の確保について、ハード面、ソフト面の両面から考えを聞きたい。まちづくり景観部長：ハード面では踏切内に非常ボタン

インクルーシブ社会

インクルーシブ社会（※）実現に向けた取り組みについて、次の質問が行われました。

質問：インクルーシブ社会を

目指していく中で、障害者にとつて働くことの意味を市はどう捉えているのか。

健康福祉部長：障害のある人もない人も、共に人格と個性を尊重し合って、地域で自立した生活を送り、生きがいのある暮らしを築くことを考えている。したがって障害者が働くことを通

じ、その適正に応じた能力が、十分発揮できるさまざまな就労支援施策を推進していきたいと考えている。質問：就労支援施策を推進するに当たり、市はどのような

検知する三次元レーザーレーダー方式による検知装置の導入、全方位警報灯などの設置を進めるとともに、ソフト面では、JＲ東日本の踏切事故ゼロ運動キャンペーンで、高齢者や障害者の方が横断する際、周りの方々が手助けを行うなどの内容を盛り込むよう要請していきたいと考えている。

質問：開かずの踏切についてはどう考えているか。

同部長：北鎌倉駅周辺の遮断時間については、JＲ東日本に要請しており、現在は、短時間で踏切を開くよう調整を行っているが、現段階ではこれ以上短縮すると危険なため、困難であると聞いている。

なお、超長期的な事業計画で横須賀線の地下化の検討の働きかけを行っている。

取り組みを行っているのか。

同部長：第2期鎌倉市障害者基本計画に基づき、就労支援事業所の整備、雇用奨励金の給付、市内での就労実習や職場体験実習の実施などに取り組んでいる。

質問：市内での就労体験実習の取り組み状況はどうなっているのか。

同部長：就労移行支援事業所と連携し、深沢多目的スポーツ広場の緑地清掃、中央図書館のブックスタート事業の絵本の袋詰め作業、また、障害者福祉課の窓口で鎌倉養護学校高等部2年生が伝票の整理やスタンプ押し、郵便物やパンフレットの仕分け等の職場体験学習を行っている。質問：鎌倉市障害者基本計画は、どのような鎌倉市を目

鎌倉市議会からのお知らせ

- ◇かまくら議会だより 音声版・点訳版のご案内
「かまくら議会だより」は、鎌倉朗読・録音奉仕会と鎌倉市点訳赤十字奉仕団のご協力により、音声版(収録テープ・デジター)と点訳版を作成しています。ご希望の方は議会事務局議事調査担当までお問い合わせください。
- ◇請願・陳情の出し方
市民の皆さんの意見・要望を、市議会を通して行政に反映させる制度として請願と陳情があります。請願は1人以上の紹介議員の署名が必要ですが、陳情は不要です。提出に当たっては、所定の様式があるため、事前に議会事務局議事調査担当までお問い合わせください。

提出の締め切り…提出はいつでも可能ですが、定例会初日の前日までに提出された場合はその定例会で審査し、それ以降の提出の場合は次回定例会での審査となります。

鎌倉市議会事務局
議事調査担当
電話：0467(23)3000 内線2448
FAX：0467(23)5825
メール：gikai02@city.kamakura.kanagawa.jp

本会議・委員会映像公開中です！

鎌倉市議会では、本会議及び各常任委員会等について生中継を行っています(録画映像も見ることができます)。

鎌倉市議会ホームページはこちら！

<http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/gikai/>

鎌倉市議会

または、
検索

指して作成されたのか。

同部長：鎌倉市障害者基本計画では、将来目標として障害のある人も、ない人も誰もが一生にわたり健やかで安心して地域で暮らせるま

ちを目指しており、この目標の実現に向け、「ノーマライゼーションの実現」「クオリティオブライフの向上」「人にやさしいまちづくり」「地域生活を支える支援の充実」などを基本的

視点に掲げたものである。質問：本市も今後さまざまな障害のある方々とともに働く、インクルーシブな職場

になっていく必要があると思うがどう考えているのか。同部長：障害者の雇用の促進

用語の解説

※印の用語について解説します。

インクルーシブ社会
学校においては、普通学級、就労においては、一般企業など障害のない人と同じ環境で、それぞれの特別なニーズに応じて必要な援助が提供されること。

等に関する法律の趣旨である公的機関が果たすべき役割を考えると身体、知的、精神、さまざまな障害のある方が健常者とともに働きたい職場となるのが理想であり、将来目指していくべきであると考えている。

平成26年度 一般会計予算等を審査 一般会計予算を可決

2月13日に開催された本会議において、平成26年度の市政運営に対する市長の所信と施策概要の説明が行われ、一般会計予算、下水道事業特別会計予算等6特別会計予算など、平成26年度予算関係議案18件が提出されました。

主な内容は次のとおりです。

(予算総額)
一般会計及び6特別会計の合計／1069億6130万円(前年度比4.5%の増)
(※原案訂正後の予算額です)
(各予算規模)
一般会計／607億2150万円(前年度比4.5%の増)
〔※原案訂正後の予算額です〕
特別会計／下水道事業、大船

予算特別委員会委員	
委員長	渡辺 隆 (みんな)
副委員長	赤松 正博 (日本共産党)
委 員	河村 琢磨 (みんな)
	長嶋 竜弘 (実現する会 鎌倉)
	保坂 令子 (神奈川ネット鎌倉)
	西岡 幸子 (公明党)
	池田 実 (鎌倉みらい)
	永田磨梨奈 (鎌夢会)
	上嶋 寛弘 (自民党)
	小野田康成 (鎌夢会)



駅東口市街地再開発事業、国民健康保険事業、公共用地先行取得事業、介護保険事業及び後期高齢者医療事業の6特別会計合計で、462億3980万円(前年度比4.4%の増)

1 予算特別委員会の設置
2月21日に開催された本会議において、新年度予算等に対する各会派からの代表質問を終えた後に、特別委員会設置の動議で10名の委員からなる平成26年度鎌倉市一般会計予算等審査特別委員会(以下「予算特別委員会」という)を設置し、平成26年度予算関係議案18議案の審査を付託しました。

2 予算特別委員会で審査(担当原局・市長への質疑)
予算特別委員会では、付託された予算議案等について、3月6日から11日にかけて、担当原局に対する質疑を行いました。

3月12日には、市長に対し多岐にわたる質疑を行い、一

般廃棄物有料化に関する改正条例の規則に委任する規定について、顧問弁護士の見解を求める動議が発議され、総員の賛成で可決しました。

これにより3名の顧問弁護士の見解が提出され、質疑を行ったところ、同条例改正議案が撤回され、これに伴う一般会計予算の訂正が行われました。

また、鎌倉地域労働組合総連合に関する補助金の削除を求める組み替え動議も提出され、多数の賛成で可決しました。これに対し市長から27年度予算において検討するとの回答がありました。

3 予算特別委員会で採決
付託を受けた議案のうち、撤回された議案を除く平成26年度一般会計予算など17議案の採決を行いました。

その結果、一般会計予算、後期高齢者医療事業特別会計予算をはじめとする6特別会計予算及び鎌倉市勤労福祉会館条例を廃止する条例の制定

についてをはじめとする10件の条例関係議案について、それぞれ原案のとおり可決すべきものと決しました。

4 審査結果の報告
会期延長された3月28日の本会議において、予算特別委員長から審査結果等が報告され、次の意見が付されました。

①メンタルヘルスについて
メンタルヘルス不調による職員の休職等が増えており、市民サービスの低下につながっていることから、職員のケアの面で、モチベーションを上げるための人事管理の見直しと効率的な組織づくりを求める。

②待機児童対策について
待機児童の増加は全国的な問題となっており、本市でも待機児童は200人を超える状況にある。保育園の整備はもとより、認定こども園へ移行する幼稚園の拡充や、一時預かり保育の充実、家庭的保育(保育ママ)の増員など、具体的な

緊急対応を求める。

③小・中学校の空調設備について
本市の教育現場では、普通教室には空調設備が設置されておらず、十分な教育環境が確保されているとは言えない。空調設備設置の必要性、重要性、緊急性を十分認識し、小学校を含め、実施計画の内容を前倒しするなど、普通教室等への空調設備の設置を早期に実施することを求める。

④これらの意見のほかに、今回、撤回された議案第83号(一般廃棄物有料化に関する改正条例)について、顧問弁護士から法制面での不備を指摘されたことを真摯に受け止め、執行部側の法制体制の充実を図っていくことを求める旨の意見が出されました。

5 本会議で採決
委員長報告の後、8会派の議員から、原案に対する賛否の討論が行われました。

その後、採決を行った結果、一般会計予算、後期高齢者医療事業特別会計予算及びスポーツ施設条例等の一部を改正する条例の制定については多数の賛成により、下水道事業特別会計予算ほか4特別会計及び9件の条例関係議案については総員の賛成により可決しました。

陳情の議決結果

〔採択した陳情〕

◆トレイルラン規制の条例化についての陳情

陳情の要旨及び審議結果

トレイルランが、道路交通法等の法令に抵触するか調査し、抵触する場合は相応の対応を行うとともに、抵触しない場合はトレイルランを規制する条例の制定について市に働きかけてほしいというもので、委員会では総員の賛成により採択しました。

〔不採択とした陳情〕
次の陳情については、委員会、本会議ともに多数の賛成により不採択としました。

◆県道金沢鎌倉線、ハイランド、久木踏切、大町経由の新規循環バスの社会実験の再検討を求めることについての陳情

◆実施機関に行政文書作成の徹底を求める陳情
行政文書作成の徹底を実施機関に求めるもので、委員会

各派代表質問

2月19、21日の本会議において、平成26年度予算関係議案に対する各派代表質問が行われました。各会派の質問者は次のとおりです。

- 自由民主党鎌倉(中澤克之議員)
- 鎌倉みらい(池田 実議員)
- 公明党(西岡 幸子議員)
- 鎌倉市議会議員団(公正、公平、透明な政治を実現する会 鎌倉(長嶋 竜弘議員))
- 鎌倉夢プロジェクトの会(永田磨梨奈議員)
- 日本共産党(赤松正博議員)
- 鎌倉市議会議員団(神奈川ネットワーク運動・鎌倉(保坂 令子議員))
- みんなの鎌倉(渡辺 隆議員)

(代表質問順)

新年度予算に対する 各会派の評価と見解

←次ページをご覧ください。

可決した決議

議会は、3月19日及び28日の本会議において次の決議を行いました。

鎌倉市由比ガ浜4丁目大型商業施設計画に関する決議

鎌倉市由比ガ浜4丁目の鎌倉海浜公園北隣に位置する鎌倉シーサイドテニスクラブ跡地(約1万8千平方メートル)に大和情報サービスなどが計画している駐車台数約320台の大型商業施設計画については、鎌倉市内の慢性的な交通渋滞に拍車がかかることや防災・救急面での悪影響が懸念されている。このことは市民生活を脅かすことにもつながりかねず、交通渋滞解消や防災救急の体制強化を図っている鎌倉市にとっても大変憂慮すべき事態である。よって、計画については道路を所管する国や県、そして交通対策を所管する県警など関係諸機関と十分協議の上、これら懸念が払拭されない限りは計画を認可しないよう求める。

以上、決議する。

平成26年3月19日

鎌 倉 市 議 会

事務処理の適正な執行を求める決議

ふるさと雇用再生特別基金事業において、平成22年度から平成23年度にかけて実施された、観光資源創出活用事業に係る市の事務処理の執行に関しては、前任期に引き続き今任期においても、事務処理の執行に対する疑義の調査・究明を求めるといった要旨の陳情が提出されており、付託された観光厚生常任委員会で継続審査となっている。

平成25年9月定例会の観光厚生常任委員会において、これら継続審査となっている陳情の理由にある疑義に関して、一部委員から、改めて調査すべきとの発言があり、調査することについて全会一致となったため、平成25年11月28日、12月26日、本年2月4日及び3月17日の延べ4回にわたって観光厚生常任委員会協議会を開き、陳情の理由にある疑義及び各委員から出された疑義について17項目に整理し、それらの項目に対し、原局質疑及び各委員からの資料提供などを通じて調査を進めてきた。

調査した結果、今後の市の事務処理の適正な執行を求めることについて、観光厚生常任委員会協議会で一致した意見について、次のとおり申し述べる。

まず、契約に関しては、参考見積書を一者しか徴取しなかったこと、プロポーザル期間が平成22年度は8月11日から18日、平成23年度は4月20日から25日と短期間であったこと、さらに、プロポーザル選定委員会の採点表の回収について、採点表をその場で回収せず持ち帰り翌日回収とした点についても問題がある。今後は、特定業者に有利と思われるような方法により、不正の疑いを持たれないよう透明性を持った方法に改善すべきと指摘する。

また、契約書上にある勤務日報について、担当原局は出勤簿で勤務内容を判断できるとの見解であったが、成果品の検収及び費用対効果の検証をする上で、誰がいつどこに行きどうという調査をしたかといった勤務実態を把握する勤務日報は必要であったと判断する。契約書にうたった勤務日報の提出を求めなかったチェック体制の甘さを指摘する。今後は、契約書ののった事務処理の執行を強く求めるものである。

次に、検収方法に関しては、本事業に対する目的や成果品の内容について、成果品には観光ルートとして不適当なポイントや、現地に行かなくても書けるような簡易な調査内容が散見され、担当原局が成果品をきちんと精査し検収されているとは言いがたく、まず事業の目的を明確にすることは言うまでもなく、勤務日報や精算書等、必要な書類を用いて適正に検収できる体制をとるよう指摘する。

次に、ふるさと雇用再生特別基金事業における雇用の募集に関しては、担当原局の報告によると、ハローワークを通じた求人基本とするよう県の実施要領において定められているとのことであるが、雇用創出に係る事業の実施にあたっては、本市における雇用の継続という観点で、求人方法に関しては、市は広く周知を図るとともに、雇用の選定基準を明確化すべきであると指摘する。

その他、見積書におけるコンサルタント等人件費の価格検証は難しい面があるものの、担当原局が適正に積算根拠の確認及び金額の妥当性を判断しているとは言いがたく、経営感覚を持った価格検証は当然すべきであるということ、本事業の成果品が委託業者の宣伝物になっていること、本事業の疑義に関して内部告発と思われるメールが一部議員に届いているということ、精算書等の要求した資料の提出を業者に求めないということの疑義に対し、会計実地検査で問題がないということで担当原局は問題視していないこと、及び平成23年度のプロポーザルの公募条件に旅行業登録業者であることとされているものの、実際応募してきた業者は登録を抹消されていたことが明らかになり、応募資格の確認がずさんであったことなど、本事業の執行に関しては、依然として問題点が多数あることを指摘する。

よって、以上申し述べた指摘事項に十分留意し、本市の観光事業を停滞させることなく、さらなる観光事業の発展のために、本事業における問題点に関して、改善すべき点は速やかに改善するとともに、関係者に事情聴取の上、さらに明らかにしていないものもろもろの疑義解明を図り、事務処理の適正な執行を求めるものである。

以上、決議する。

平成26年3月28日

鎌 倉 市 議 会

鎌倉市職員給与の削減を求める決議

現在実施されている鎌倉市職員給与暫定削減は、本年7月末で終了する。鎌倉市は、平成25年度地方交付税交付団体に陥り、給与暫定削減を実施した時点と環境が変わり、財政的にはさらに厳しさが増している現状にある。松尾市長は、議会において本年8月以降も職員給与と体系の見直しや手当てなどの是正を実行すると答弁し、現在、職員組合と交渉していると聞き及んでいる。

ところが、平成26年度予算案では、本年8月以降、従前の給与に戻る予算案が計上されており、現状においては職員給与は全国地方自治体の最上位にランクされる可能性がある。

平成26年度から市民に対しては復興税・固定資産税・消費税と負担のアップを求めている現状に鑑みれば、市民サービスの低下を招くことのないよう、地域手当を初め、市職員給与削減に向けて給与体系の見直しに不退転の決意で交渉に臨み、切れ目のない財政改革の実施を求めるものである。

以上、決議する。

平成26年3月28日

鎌 倉 市 議 会

自民党



鎌倉みらい



公明党



実現する会 鎌倉



顧客志向性を持った持続可能な市政のために

自由民主党は厳しい姿勢で東日本大震災から3年を経て鎌倉市として大災害や危機が起こった際に鎌倉市民の生命と財産を守るため、自衛隊を初め国や県との協力体制の構築、避難施設の整備を求めました。特に学校現場における児童の避難体制、保護者・地域との連携を整えるべきと市長、教育長に訴えました。また、今泉砂押川沿いの道路拡充については防災の観点からも速やか実現するよう強く迫り、着工がいよいよ今年度より始まります。

続いて教育行政では、子どもを社会全体で守るためにいじめ110番の運用状況確認とともに新年度においても子どものSOSを決して見逃さず、いじめは犯罪であることを徹底し、教育委員会が策定した「いじめ対応指針」を評価し、さらに「いじめ禁止条例」へと昇華するように提言をしました。

また教育環境として昨今の温暖化を踏まえて「空調設備の実現」を子供の学力向上に資するために市債発行も視野に計画前倒しの実現検討を求めました。子育てに関して市として持続可能な行政運営の観点からも勤労子育て世代を重点的に支援し、具体的には保育所の充実、小児用予防接種の補助拡大、中学校給食の導入、ひとり親家庭への支援を優先的に取り組む要請に対し市

鎌倉の未来を創る長期的視野に立った予算を

鎌倉みらいは、今、市民にとって本当に必要な予算か、また長期的な視野に立つて持続可能な鎌倉市を実現するために必要な予算かを視点として予算審査に臨み、一般会計予算外諸議案に対して賛成しました。平成26年度は、第3期基本計画のスタートの年であり、新たな取り組みとして包括予算制度が導入され、より事業の選択と集中が図られた点は評価するものです。

●新たに設置する公共施設

新たに設置する公共施設については、新規単独施設の整備は行わない、トータルコストの50%削減、施設の複合化、地域ごとの施設の在り方の見直しなど、既に示されている公共施設マネジメントの大方針に沿い、長期的視野に立った計画推進が必要と考えます。

●市民活動支援の充実

多様化する市民ニーズに対応し、より良い公共サービスを提供するためには、専門知識のある市民と行政とがお互いに知恵を出し合って、新しい行政の在り方を形成する取り組みが重要です。そのためには、市民活動団体を育てる仕組みづくりと充実が必要であることを指摘しました。

●地域コミュニティ推進事業

近年の核家族化や少子高齢化の進展に伴い、地域のつながりが希薄になる中で、3・11をきっかけに、地域のつながりや共助の大切さが再認識

されました。25年度に実施した「大船地域づくり会議」の一定の成果といくつかの課題を整理して、次年度へ引き継ぐために、長期的な視野に立った取り組みの必要性を指摘し、推進を要望しました。

●障害者就労支援

就労後の定着支援のための取り組みとして、地域の就業・生活支援センターと連携したジョブコーチやジョブサポーターの派遣事業を実施していることは評価し、障害者の就業時間外の時間帯や休日等の過ごし方など、障害者の生活全般に対し、さらなるきめ細かな生活支援の充実が必要であることを指摘し要望しました。

●深沢地域整備事業

現計画において、見えづらくなってきたまちづくりのコンセプト「健康拠点 深沢」ウェルネスに対して、持続可能なまちづくりを切望する地域住民の不安を真摯に受け止め、パブコメや公聴会、地域住民の声など、さまざまな意見を勘案すべきであることを指摘し、今後のより良いまちづくりにつなげるよう要望しました。

●特に評価した施策

高齢化社会の進展に伴う成年後見センターの開設、鎌倉地域漁港対策事業における都市計画変更手続きの推進、鎌倉地域における休日の交通渋滞解消の取り組み、各々の施策に対して評価するとともに確実な推進をお願いしました。

興譲の精神で市民の信頼に足る市政運営を！

公明党鎌倉市議会議員団は、市長がごみ有料化条例を撤回し、訂正された一般会計予算外諸議案に対し、市民の浄財を大切に市民サービスに生かすよう強く求め、賛成いたしました。

●防災・減災について

「国土強靱化地域計画」の策定・責務が求められ、本市としての取り組みについて資するとともに避難所への誘導・津波避難誘導標識の在り方について提言。

●健康・福祉について

生命をむしばむがん対策として検診受診のコール・リコールが有効策であることを指摘し、自殺につながる心の病については、「メンタルヘルスプロジェクト」を展開するよう求めました。

●健康・福祉について

さらに、レセプト・健康情報を活用したデータヘルスの推進を図るよう求めました。また、超高齢社会を迎えた本市において住み慣れた地域でお年寄りや障害者が生涯安心して住み続けられるよう保健・医療・介護の連携を図る「地域包括ケアシステム」の推進を求めました。そして、本年7月開設の成年後見センターの周知を図るとともに「障害者総合支援法」

実施要綱にうたわれた「読み書き代行サービス」専門員の養成を図るなど福祉の向上を求めました。

●文化と街づくり

鎌倉市民が生き生きと暮らせる街・歴史と共生する街づくりについて本市が目指す方向性について質問するとともに、深沢地域国鉄跡地周辺総合整備事業や、大船駅東口再開発事業、砂押川の歩道整備事業の推進を求めました。

●教育について

喫緊の課題である市内小・中学校の空調設備の設置を早急に行うべきとし、学校施設の新構造部材の耐震対策の推進を求めました。

●教育について

青少年のネット依存対策を図るべきとし、同時に「読書通帳」の活用や、図書館の財源確保策として「雑誌スポンサー制度」の導入について提言しました。また、新たな放課後子ども教室や29年度実施を目指す中学校給食の実施計画についていただきました。

●ごみ問題について

ごみ処理は、市民が安心して生活を営むための根幹をなす行政の責務です。行政は本市の状況に鑑み、速やかに市民のために安定したごみ処理施策を講じる責務があり、同時に本市の将来にわたるビジョンを示すべきです。本市の行政計画は市民不在の施策であり、容認できません。

NOと言える改革を！

●この国の現状

皆さんは今、日本という国の現状を、どのように認識されていますでしょうか？

次の世代に、今日と同じ明日が来ると、約束することができのでしょうか？

その答えは、残念ながら「ノー」と言わざるを得ない状況にあると思います。

皆さんは今いくら、ご自分が国の借金を背負っているか、ご存知でしょうか？

国の借金は、平成26年度末に最大で、1143兆円になります。これを総人口1億2722万人で単純に割ると、1人当たり約900万円の借金を背負っていることになります。

このように膨大な借金を抱えた日本、その中で超高齢化・人口減少時代に突入してゆく今、これまでと同じ認識でいたら、この国は完全に生き残れなくなるのが現実だと思えます。

また、新たな放課後子ども教室や29年度実施を目指す中学校給食の実施計画についていただきました。

ごみ処理は、市民が安心して生活を営むための根幹をなす行政の責務です。行政は本市の状況に鑑み、速やかに市民のために安定したごみ処理施策を講じる責務があり、同時に本市の将来にわたるビジョンを示すべきです。

本市の行政計画は市民不在の施策であり、容認できません。

このように膨大な借金を抱えた日本、その中で超高齢化・人口減少時代に突入してゆく今、これまでと同じ認識でいたら、この国は完全に生き残れなくなるのが現実だと思えます。

また、新たな放課後子ども教室や29年度実施を目指す中学校給食の実施計画についていただきました。

ごみ処理は、市民が安心して生活を営むための根幹をなす行政の責務です。行政は本市の状況に鑑み、速やかに市民のために安定したごみ処理施策を講じる責務があり、同時に本市の将来にわたるビジョンを示すべきです。

本市の行政計画は市民不在の施策であり、容認できません。

ことになります。

●常識を覆す改革を

先ほど述べました国の状況をみてわかるとおり、改革をしなければ、鎌倉の街も生き残れなくなります。

改革するには、政治的意思と決断を持って進まなければ、その成果は見えてきません。松尾市長には、ぜひゆるぎ

ない政治的意思と決断を持って、26年度は一歩進んでいただきたいと思っています。

今ポイントを切り替えて、進む方向を変えなければ、完全に手遅れになります。

未来を見据えて、26年度は、常識を覆すような改革のスタートを切っていただくために、松尾市政に次の言葉を送りたいと思います。

「ノー」と言う必要がある。安全にやろうと思うのは、一番危険な落とし穴なんだ。最も重要な決定とは、何をするかではなく、何をしないかを決めることだ。

次にどんな夢を描けるか、それがいつも重要だー海と山の美しい自然環境と豊かな歴史的遺産をもつ古都鎌倉を、政治的意思と決断を持って改革し、次世代にツケを残さず引き継いでいただきたいと思っています。

最も重要な決定とは、何をするかではなく、何をしないかを決めることだ。

次にどんな夢を描けるか、それがいつも重要だー海と山の美しい自然環境と豊かな歴史的遺産をもつ古都鎌倉を、政治的意思と決断を持って改革し、次世代にツケを残さず引き継いでいただきたいと思っています。

最も重要な決定とは、何をするかではなく、何をしないかを決めることだ。

次にどんな夢を描けるか、それがいつも重要だー海と山の美しい自然環境と豊かな歴史的遺産をもつ古都鎌倉を、政治的意思と決断を持って改革し、次世代にツケを残さず引き継いでいただきたいと思っています。

最も重要な決定とは、何をするかではなく、何をしないかを決めることだ。

次にどんな夢を描けるか、それがいつも重要だー海と山の美しい自然環境と豊かな歴史的遺産をもつ古都鎌倉を、政治的意思と決断を持って改革し、次世代にツケを残さず引き継いでいただきたいと思っています。

鎌夢会



住んで良かった街「鎌倉」へ、今やるべきこと

平成26年度は財源不足により前倒しされた「次期基本計画」の前期実施計画の開始年度となります。これは「持続可能な都市経営をこれまで以上に推進するための計画の前倒し」であります。

鎌夢会では予算案に対して賛成の立場から、その理念に對し重要性和緊急性を踏まえた施策の選択と集中が成り得ているかを検証しました。

●安全な生活の基盤づくり

平成26年度の一般会計予算は安全な生活の基盤づくり対策の分野において防災を中心

●民間との協働を

公共施設はその老朽化に伴い、複合化させながら再編整備をし、施設建設費や維持管理費の経費縮減を目指すことを促進すべきです。また公共施設においてはサービスの質を維持向上させ、行政コストの削減につなげるため、その有効的かつ合理的な行政手法の一つとして民間の力を積極的に活用していくことを求めました。

●給与体系の見直しを

また今後は、充実してきた情報発信ツールをどう駆使していくのかにも注視していきたいと考えています。

●子育てしやすいまち鎌倉に

待機児童は増加の一途をたどっています。潜在的な待機児童を含めるとその数は300名以上とも言われており、具体的な緊急対応が求められています。そこでこども園の

日本共産党



市政にもっと福祉の心を

日本共産党鎌倉市議会議員団は、市民の暮らしがピーク時より70万円もの減収となっている中、30%を占める高齢者は年金削減の上、医療・介護などの負担増、その上に消費税増税と、市民生活全体がかつてない厳しさに立っているなか、住民のくらしと直結する自治体のありようが厳しく問われていると問題提起しました。そして以下に述べる理由により、一般会計予算、後期高齢者医療特別会計予算などに反対しました。

●包括予算で

福祉犠牲は許せません！

20年間連続大幅マイナスシーリングの中で包括予算で、市民生活に直結する分野に大ナタがふるわれました。

高齢者割引乗車証の凍結、障害者の健康、福祉、雇用などを含め、1億5千万円も削減されました。

●深沢の大型開発は推進

区画整理のみで133億円

その一方で、JR村岡新駅を想定した「国鉄大船工場跡地」を中心とした深沢地区整備事業は、26年度に法定計画の決定、事業認可に踏み出す予定です。新駅構想を前提に、事業区域内に、幅員20mもの道路をつくり、玉縄のコーナ

●減量効果のない

ごみ有料化はやめよ！

市は家庭系ごみを有料にするため、関係条例の改正を議会に提案しました。ところが、改正案には、有料にするごみが特定されておらず、「規則」に委任しているものの、その規則も用意されていませんでした。日本共産党は「これでは市長に白紙委任するようなもの」「条例で定める」としている地方自治法に反するのではないかと厳しく指摘しました。

議会の求めで示された市顧問弁護士の見解も、私たちの指摘と同じで、ついに市長は、条例案を撤回しました。

あわせて、有料化を前提にした約2億円の予算も減額しました。

市長は、6月議会にも再提出するものと思いますが、今議会でも明らかにした、市民に購入していただくごみ袋代金約1億8千万円の使途、ごみ監視員30人雇用、パトロール用車両15台購入などは、とうてい市民に理解していただけるものではありません。

鎌倉市民は、有料化実施の自治体以上に減量に成果をあげています。有料化をやめ、この市民力を信頼して頑張るべきです。

神奈川ネット鎌倉



市民と向き合い、難題から逃げない市政を

神奈川ネットは、家庭系ごみ収集有料化の条例改正案の撤回により有料化に係る経費等が削除された「訂正予算案」及び外諸議案に賛成しました。

●高年齢者福祉

高齢者の生きがい対策や外出支援は、健康を維持するために必要な施策です。また、2015年度の介護保険制度の改定で、要支援1、2の一部を給付から外し、市区町村事業に移行する方向が示されています。介護予防の重要性を指摘しました。

●子育て支援

保育園入所保留児が200名を超える現状を踏まえ、認可保育園の整備を急ぎ、小規模保育導入の促進、幼稚園での長時間預かり等、さまざまな施策で対策を講じるべきです。保育士の確保も急務です。また、相談体制や一時預かりのさらなる充実を求めました。

●防災

鎌倉市は、南海トラフ巨大地震と首都直下地震に備え重点的対策を実施する地域に指定され、その経費が交付される見通しです。住民と情報や方針の共有化を図り、津波避難路等の具体的な整備計画を進めるよう求めました。

●危機管理

中央防災会議が、防災基本計画に原発事故の対策強化を盛り込みました。市の緊急事態対策計画でも放射性物質災害対策編の策定を急ぎ、具体

みんな



行財政改革を進め、教育・福祉の充実を

みんなの鎌倉では、平成26年度鎌倉市一般会計予算外関連諸議案に賛成しました。

●夢のあるまちづくり

今回、平成26年度より3年間の前期実施計画が示されましたが、中学校への空調設備の導入、総合体育施設の建設など財源確保や用地選定など政においても実現していかねばならない最大のテーマであります。平成26年度一般会計予算審議に当たり、行財政改革がしっかりと行われているか、地域主権を念頭にしっかりと政策が組まれているか、を重視しました。

●厳しい財政状況

昨年度と比べ円安による一部企業の業績改善、株価の持ち直しなどもあり、長いトネルの出口が見えた感もありますが、雇用状況の改善や賃金の上昇には必ずしもつながっていないとは言えません。さらなる成長戦略がなければ、個人市民税などの大幅な増収は見込めないのが現状です。

●小・中学校の冷暖房

公共施設の空調の新設・更新時には、運転コストの抑制とエネルギーの多様化の視点が重要だと主張しました。新築の大船中学校には、ガスヒートポンプ式の空調機を設置することがわかりました。

●中学校給食

3年の準備期間後に、業者委託の弁当方式による中学校給食が全市実施されます。選択制の採用やアレルギー対策、食材の安全、給食時間の確保等の必要性を訴えました。

収入確保の観点からは鎌倉市も努力していることは評価するものですが、新たな税収の確保、観光分野や交通分野での法定外目的税の導入などの研究を進めていくべきと考えます。また、市債残高は約401億円と見込まれ、今後予測される扶助費の増大や社会資本の整備を考えると危機感を持って臨むべきです。市有財産の売却も除外せ

ず、公共施設再編計画を着実に進めていくべきと考えます。

今回、平成26年度より3年間の前期実施計画が示されましたが、中学校への空調設備の導入、総合体育施設の建設など財源確保や用地選定など政においても実現していかねばならない最大のテーマであります。平成26年度一般会計予算審議に当たり、行財政改革がしっかりと行われているか、地域主権を念頭にしっかりと政策が組まれているか、を重視しました。

昨年度と比べ円安による一部企業の業績改善、株価の持ち直しなどもあり、長いトネルの出口が見えた感もありますが、雇用状況の改善や賃金の上昇には必ずしもつながっていないとは言えません。さらなる成長戦略がなければ、個人市民税などの大幅な増収は見込めないのが現状です。

公共施設の空調の新設・更新時には、運転コストの抑制とエネルギーの多様化の視点が重要だと主張しました。新築の大船中学校には、ガスヒートポンプ式の空調機を設置することがわかりました。

3年の準備期間後に、業者委託の弁当方式による中学校給食が全市実施されます。選択制の採用やアレルギー対策、食材の安全、給食時間の確保等の必要性を訴えました。

収入確保の観点からは鎌倉市も努力していることは評価するものですが、新たな税収の確保、観光分野や交通分野での法定外目的税の導入などの研究を進めていくべきと考えます。また、市債残高は約401億円と見込まれ、今後予測される扶助費の増大や社会資本の整備を考えると危機感を持って臨むべきです。市有財産の売却も除外せ

ず、公共施設再編計画を着実に進めていくべきと考えます。

今回、平成26年度より3年間の前期実施計画が示されましたが、中学校への空調設備の導入、総合体育施設の建設など財源確保や用地選定など政においても実現していかねばならない最大のテーマであります。平成26年度一般会計予算審議に当たり、行財政改革がしっかりと行われているか、地域主権を念頭にしっかりと政策が組まれているか、を重視しました。

昨年度と比べ円安による一部企業の業績改善、株価の持ち直しなどもあり、長いトネルの出口が見えた感もありますが、雇用状況の改善や賃金の上昇には必ずしもつながっていないとは言えません。さらなる成長戦略がなければ、個人市民税などの大幅な増収は見込めないのが現状です。

公共施設の空調の新設・更新時には、運転コストの抑制とエネルギーの多様化の視点が重要だと主張しました。新築の大船中学校には、ガスヒートポンプ式の空調機を設置することがわかりました。

3年の準備期間後に、業者委託の弁当方式による中学校給食が全市実施されます。選択制の採用やアレルギー対策、食材の安全、給食時間の確保等の必要性を訴えました。

収入確保の観点からは鎌倉市も努力していることは評価するものですが、新たな税収の確保、観光分野や交通分野での法定外目的税の導入などの研究を進めていくべきと考えます。また、市債残高は約401億円と見込まれ、今後予測される扶助費の増大や社会資本の整備を考えると危機感を持って臨むべきです。市有財産の売却も除外せ

ず、公共施設再編計画を着実に進めていくべきと考えます。

今回、平成26年度より3年間の前期実施計画が示されましたが、中学校への空調設備の導入、総合体育施設の建設など財源確保や用地選定など政においても実現していかねばならない最大のテーマであります。平成26年度一般会計予算審議に当たり、行財政改革がしっかりと行われているか、地域主権を念頭にしっかりと政策が組まれているか、を重視しました。

昨年度と比べ円安による一部企業の業績改善、株価の持ち直しなどもあり、長いトネルの出口が見えた感もありますが、雇用状況の改善や賃金の上昇には必ずしもつながっていないとは言えません。さらなる成長戦略がなければ、個人市民税などの大幅な増収は見込めないのが現状です。

公共施設の空調の新設・更新時には、運転コストの抑制とエネルギーの多様化の視点が重要だと主張しました。新築の大船中学校には、ガスヒートポンプ式の空調機を設置することがわかりました。

3年の準備期間後に、業者委託の弁当方式による中学校給食が全市実施されます。選択制の採用やアレルギー対策、食材の安全、給食時間の確保等の必要性を訴えました。

収入確保の観点からは鎌倉市も努力していることは評価するものですが、新たな税収の確保、観光分野や交通分野での法定外目的税の導入などの研究を進めていくべきと考えます。また、市債残高は約401億円と見込まれ、今後予測される扶助費の増大や社会資本の整備を考えると危機感を持って臨むべきです。市有財産の売却も除外せ

議決された主な議案等

※下記以外の議案等の賛否については、議会事務局へお問い合わせください。

○：賛成 ー：反対 退：退席

会 派 名				※会派は、政策を中心とした同一の理念を共有する2人以上の議員で構成されます。本市議会では、会派に属する議員は代表質問を行ったり、議会運営委員会の委員となり、議会運営に関する協議を行うことができます。				鎌倉プロジェクトの会 夢				みんなの鎌倉				議 鎌 公 倉 員 市 明 議 議 議 議 団 会 党				鎌倉みらい				議 鎌 日 倉 本 倉 本 員 市 共 員 市 共 議 議 議 議 団 会 党 団 会 党				運 鎌 自 ネ 政 由 神 治 民 動 正 主 ・ 公 主 ト 平 民 ワ 透 主 ー 明 倉 党 鎌 倉			
-------	--	--	--	---	--	--	--	--------------	--	--	--	--------	--	--	--	--------------------------------------	--	--	--	-------	--	--	--	---	--	--	--	---	--	--	--

【会派名の変更】平成26年4月17日付で、「自由民主党鎌倉市議会議員団」は「自由民主党鎌倉」に名称変更しました。

今定例会では、議会から3件の議案が提出されました。また、市長から30件の議案が提出され、1件の議案が撤回されました。主な議案の内容は次のとおりです。

主な議会提出議案

◎鎌倉市由比ガ浜4丁目大型商業施設計画に関する決議について

鎌倉海浜公園北隣に位置する鎌倉シーサイドテニスクラブ跡地に計画している大型商業施設計画は、鎌倉市内の慢性的な交通渋滞に拍車がかかることや防災・救急面での悪影響が懸念されているため、計画については国、県及び県警など関係諸機関と十分協議の上、これら懸念が払拭されない限りは計画を認可しないよう求める内容の決議で、渡邊昌一郎議員、岡田和則議員、前川綾子議員、小野田康成議員、赤松正博議員、中澤克之議員、松中健治議員を提出者、千一議員、竹田ゆかり議員、三宅真里議員、納所輝次議員を賛成者として提出されました。

議会では、総員の賛成により原案を可決しました。
（全文は3面をご覧ください）

条例の一部改正

◎鎌倉市常勤特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
給料月額に関する特例として、市長及び副市長の給与の暫定的な削減措置として、平成25年11月1日に市長であった者の任期に係る在職期間の間、市長にあつては、給料月額及び地域手当の額から1000

分の10を、副市長にあつては100分の7を、それぞれ減額するほか、市長の任期に係る退職手当を支給しないことを改めて規定しようとするものです。本議案については、退職手当の規定は、改正しなくとも現市長の任期に係る退職手当を支給しないものとする等との理由により、総務常任委員会から原案に対する修正案が提出されました。

議会では、多数の賛成により修正案を可決し、総員の賛成により修正部分を除く原案を可決しました。

不動産の取得

◎不動産の取得について

鎌倉近郊緑地特別保全地区内の土地を取得しようとするもので、土地の所在は鎌倉市今泉一丁目42番、地目は山林、面積は5788・96㎡、取得価格は3241万8176円です。

議会では、多数の賛成により原案を可決しました。

補正予算

一般会計補正予算（第6号）、一般会計補正予算（第7号）及び5特別会計補正予算は、それぞれ総員の賛成で原案を可決しました。

一般会計補正予算（第6号）

障害者在宅福祉事業の扶助費等の追加、じん芥処理の経費及び深沢地域整備事業費の減額のほか、名越クリーンセンター基幹的設備改良事業に係る継続費の変更、腰越漁港改修整備事業に係る繰越明許費の追加などを行うとするもので、歳入歳出ともに11億5320万円を減額し、補正

後の総額は576億440万円となります。

一般会計補正予算（第7号）

降雪災害緊急支援事業に係る補助金の追加をしようとするもので、歳入歳出ともに3230万円を増額し、補正後の総額は576億3670万円となります。

下水道事業特別会計補正予算

歳入歳出ともに1億520万円を減額し、補正後の総額は68億3870万円となります。

大船駅東口市街地再開発事業特別会計補正予算

歳入歳出ともに730万円を減額し、補正後の総額は1億30万円となります。

国民健康保険事業特別会計補正予算

歳入歳出ともに3億350万円を増額し、補正後の総額は187億9030万円となります。

介護保険事業特別会計補正予算

歳入歳出ともに2億1240万円を増額し、補正後の総額は141億8390万円となります。

後期高齢者医療事業特別会計補正予算

歳入歳出ともに2億1880万円を増額し、補正後の総額は46億8240万円となります。

副市長の選任

次の方を鎌倉市副市長に選任することについて、多数の賛成により同意しました。
小林 昭氏（七里ガ浜東在住）
小林氏は、国土交通省都市・地域整備局公園緑地課長、独立行政法人都市再生機構審議役などを歴任しています。
任期は、平成26年4月2日から4年間です。

人権擁護委員

人権擁護委員の任期満了に伴う候補者として、次の方を推薦することについて、総員の賛成により同意しました。

渡邊 武二氏（常盤在住）
宇佐美邦夫氏（腰越在住）
東山 勉氏（大町在住）
岡崎美奈子氏（手広在住）

全員協議会

「第3次鎌倉市総合計画第3期基本計画前期実施計画の策定について」

第3次鎌倉市総合計画基本構想及び第3期基本計画に基づく前期実施計画に関して、2月6日に議会全員協議会を開催し、市長から報告を受け、質疑を行いました。報告の概要は次のとおりです。

今回の前期実施計画は、先の平成25年12月定例会において議決された第3期基本計画に基づく最初の実施計画で、平成26年度から28年度までの

3年間について策定するものである。基本計画で示した「目標とすべきまちの姿」や「主な取組み」を計画的・効果的に実施していくための具体的な事業概要を示す。

実施計画は「実施事業」と「重点事業」の2つで構成される。実施事業は基本計画を推進するための全ての事業で333事業、重点事業は実施事業のうち第3期基本計画期間内において優先的に取り組む「安全な生活の基盤づくり」につながる事業と各分野において重点を置いて着実に推進する52事業である。

この3年間の総事業費は、一般会計と特別会計を合わせて、約3200億円（うち重点事業は約317億円）になると推計している。

重点事業については、計画期間の3年間において、事業行程が着実に推進されるよう進行管理をしていく。

今後の予定として、各重点事業に係る人員数と人件費について精査を行い、4月には計画書を配布する。

道のりを歩んでまいります
が、その道のりはまだまだスタートしたばかり。

これからも忌憚なきご意見を
お寄せいただけますよう宜しくお願い致します。

（永田磨梨奈 示）

議会広報委員会
委員長 長嶋 竜弘
副委員長 永田磨梨奈
委員 河村 琢磨
委員 保坂 令子
委員 西岡 幸子
委員 池田 実
委員 上畠 寛弘
委員 吉岡 和江